

住吉区地域見守り支援システム進捗状況等

地域名	台帳 登録者数(名)	台帳登録者訪問	日頃の 声掛け・見守り	個別支援プラン	【参考】 個別支援プラン (支援者記載なし)
墨江	369	全16町会	10/16町会		4/16町会 (87名)
清水丘	255	全13町会	全13町会	全13町会 (255名)	
遠里小野	190	全10町会	全10町会	全10町会 (190名)	
東粉浜	108	全8町会	全8町会	全8町会 (108名)	
住吉	838	12/27町会	5/27町会		7/27町会 (29名)
長居	807	全8町会	4/8町会		3/8町会 (65名)
依羅	587	2/7町会	2/7町会		3/7町会 (87名)
南住吉	679	全16町会	10/16町会	全16町会 (679名)	
山之内	460	全9町会	全9町会	全9町会 (460名)	
苅田	359	全5町会	3/5町会	全5町会 (359名)	
苅田南	309	全8町会	全8町会	全8町会 (309名)	
苅田北	247	全8町会	6/8町会	全8町会 (247名)	
合計	5,208	115/135町会	88/135町会	77/135町会 2,607名 (50.1%)	17/135町会 268名 (5.1%)

令和6年2月15日現在

水害への備えを確認しましょう

台風や線状降水帯の発生などによる大雨の影響により、大和川の水位が上がり氾濫のおそれがあります。平時からの備えをしっかりとっておきましょう！！



水害の危険性を確認しておきましょう！

大和川の水位をチェック

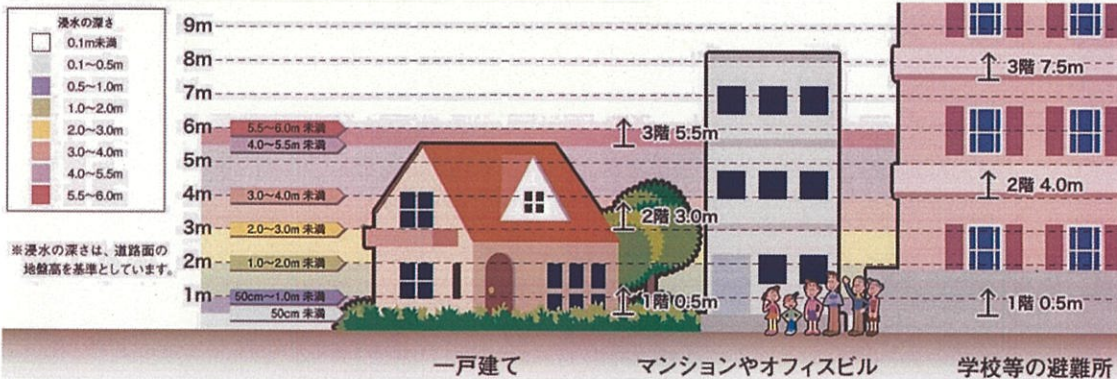
大和川の水位（柏原観測所）が
4.96mで警戒レベル3⇒**高齢者等避難**
5.54mで警戒レベル4⇒**全員避難**

令和5年6月2日の大雨では、4.6mまで水位が上昇しました！！

水位はここからチェック



自宅の浸水想定をチェック



水害ハザードマップ



水害時にとるべき行動を正しく理解しておきましょう！



水平避難



浸水が想定される場合は、余裕をもって区域外への避難（水平避難）しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の一つです。

垂直避難



浸水による建物の倒壊の危険がない場合には、自宅や隣接建物の2階等へ緊急的に一時避難することも検討しましょう。

※雨風の激しいときに避難するのはかえって危険です。

住吉区役所 地域課

大阪市住吉区南住吉3-15-55

18 電話：06-6694-9734

災害に備えて家庭で備蓄をしましょう

災害時避難所 1施設当たりの備蓄は…

保存水1, 800本、毛布300枚、
アルファ化米、ビスケット 合わせて300食

災害時避難所には1施設あたり300人分しか備蓄物資がありません！

家庭での備えが大切です！！



衣料品

衣類、下着、靴下、
タオル、毛布 など

7日分備蓄
しよう！



食料品

飲料水、缶詰、インス
タントラーメン、レト
ルト食品など保存期間
が長く、調理せずに食
べられるもの



その他

雨具、予備電池、コンロ、
ガスボンベ、わりばし、
携帯電話の充電器 など

<ローリングストック>



日常的に防災用品を
消費しながら、足り
なくなった分を買い
足して災害に備えま
しょう。

停電前に、スマート
フォンやパソコンを
充電しておきましょ
う。



大阪市民防災
マニュアル



※非常用品の確認は定期的に行っておきましょう。

もしもの為に、今始めよう

ほ う さい
大 阪 市 防 災 アプリ

大 阪 防 災

いざという時のための
国民保護法上の
緊急一時避難施設を掲載

いろんな人が使いやすい
やさしい日本語対応

他にも英語・中国語（簡体字・繁体字）・
韓国語を選べるようになりました。

迫る危険をプッシュ通知でお知らせ



身を守る
防災情報

日ごろから使える
気象情報・雨雲レーダー
降水予測や台風進路も
閲覧可能になりました。

わかりやすく伝えます
防災シグナル
警報等が発令されると
色の変化でお知らせします。

App Store



Google Play



マンション防災講座 実施内容

年度	実施日	マンション名	参加人数等	地域活動協議会名	内容
平成29年度	H30.1.17・18	臨南町会集合住宅 市営我孫子東第6住宅	169世帯のうち 35名	長居地域活動協議会	チラシを配付 訓練参加を呼びかけ
平成30年度	H30.7.22	千棘町会のマンション	236世帯のうち 40名	墨江地域活動協議会	チラシを全戸配付 訓練参加を呼びかけ
	H31.2.16	グランフェルティあびこ	80世帯のうち 30名	依羅地域活動協議会	チラシを全戸配付 訓練参加を呼びかけ
	H31.2.24	サンコートあびこ	70世帯のうち 29名	荻田南地域活動協議会	ポスター掲示
	H31.3.24	スターハイツ長居	79世帯のうち 31名	荻田北ほえみ協議会	チラシを配付 訓練参加を呼びかけ
令和元年度	R1.10.18	帝塚山グリーンハイツ	222世帯のうち 12名	住吉連合地域活動協議会	訓練参加を呼びかけ
令和2年度	R3.3	リビオ住吉大社駅前 (R1.3新築)	資料配布70世帯	地活協東粉浜	資料全戸配布
	R3.3	プレイズ住吉山之内	資料配布80世帯	山之内スマイル協議会	資料全戸配布
令和3年度	R3.12	サンマンション アトレあびこ	資料配付80世帯	荻田地域活動協議会	資料全戸配布
	R3.12.6	市営遠里小野第2住宅	8階建112室 (内7室は空室)	おりおの地活協	資料全戸配布
	R3.12.10	サンメゾン住吉沢ノ町駅前	資料配布66世帯	南住吉連合地域活動協議会	資料全戸配布
	R4.1	グランアッシュあびこ	14階建 60世帯	荻田地域活動協議会	資料全戸配布

別紙5

マンション防災講座 実施内容

年度	実施日	マンション名	参加人数等	地域活動協議会名	内容
令和4年度	R4.6.23	住吉清水丘グリーンハイッ	9階建 99世帯	清水丘地域活動協議会	資料全戸配布
	R4.12.12	ディアスタミオ南住吉番館	資料配布80世帯	南住吉連合地域活動協議会	資料全戸配布
	R5.2	市営我孫子第3住宅1号館	10階建 55世帯	荻田北ほえみ協議会	資料全戸配布
	R5.3	バンドノール住吉大社	11階建 35世帯	地活協東粉浜	資料全戸配布
	R5.4.13	ユニハイムあびこヴィステイ	15階建 57世帯	依羅地域活動協議会	資料全戸配布
令和5年度	R5.7.18	万代住宅1号館	7階建 57世帯のうち20名	住吉連合地域活動協議会	防災講話、DVD視聴、資料配布
	R5.8.26	サンヴァリア荻田	1～6棟 30名	荻田南地域活動協議会	防災講話、資料配布
	R6.1.16	ベルメイト長居	6階建 59世帯	長居地域活動協議会	資料全戸配布
	R6.1.26	住吉Ⅱ番館	8階建 94世帯	墨江地域活動協議会	資料全戸配布
	R6.1.26	プレイズ住吉山之内	15階建 59世帯	山之内スマイル協議会	資料全戸配布
令和6年度	R6.5	サンハイッ長居	7階建 35世帯	南住吉連合地域活動協議会	資料全戸配布

荻田防災サバイバル

R6.5.25

今年度も 5 月 25 日に荻田防災サバイバルを開催。

荻田小学校児童に、防災に関する 8 つのミッションと、住吉消防署による消防訓練を体験してもらいました。

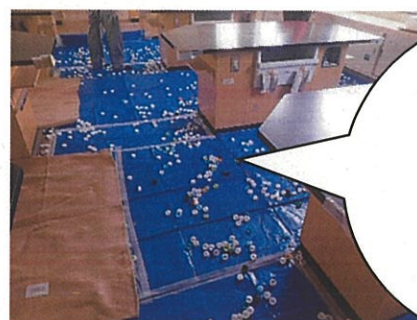
ミッション 1

ペットボトルと懐中電灯でランタンを作る



ミッション 2

暗闇でぬいぐるみを救助する



ペットボトルキャップを割れたガラスにみたてて、暗い部屋からぬいぐるみを救助

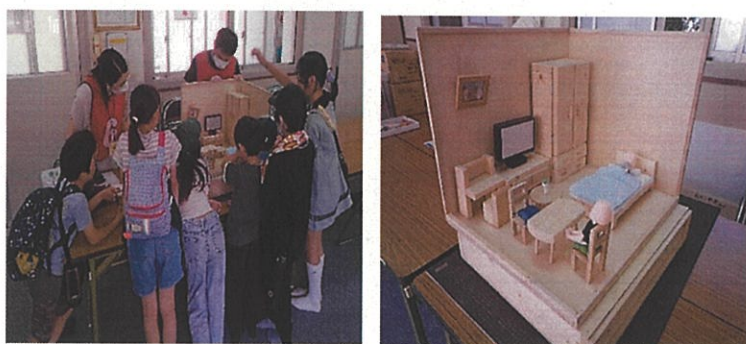
ミッション 3

牛乳パックとペットボトルキャップで非常用の笛を作る



ミッション 4

ミニチュア家具で転倒防止を考える



ミッション 5

段ボールでスリッパを作る



ミッション 6

身近にあるもので応急手当をする



ビニール袋や新聞紙、ラップを使って固定、止血



ミッション7
人形を担架で運ぶ

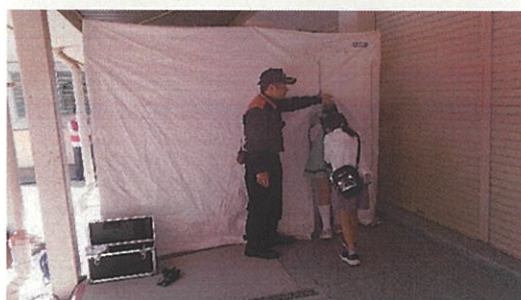
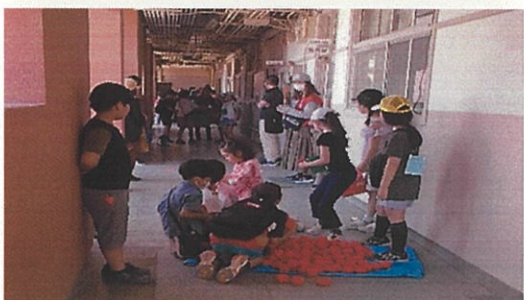


ミッション8
簡易トイレを作る



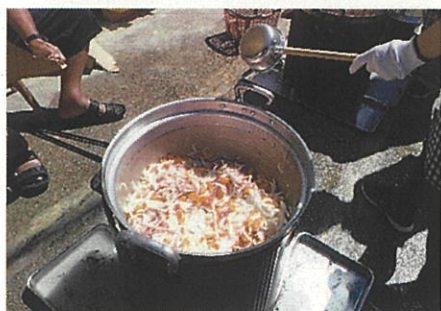
消防訓練

- ・起震車
- ・消火器体験
- ・バケツ消火
- ・煙テント



炊き出し

- ・カレー、五目ごはん



大阪公立大学「防災士養成講座」の実施に伴う受講者募集について

平素は、地域防災事業の推進にご尽力賜りありがとうございます。

本講座は大阪公立大学都市科学・防災研究センターが、地域において防災の活動をする住民等のスキル・ノウハウの習得及び向上に資する目的で社会貢献活動の一環として実施されております。

令和6年度につきましても、次のとおり実施されますので、ご周知いただきますようお願いいたします。

記

- 1 募集内容 別紙「2024年度 大阪公立大学防災士養成講座のご案内」のとおり
- 2 対象者 大阪市に在住・在勤で、当該地域で意欲的に防災活動に取り組み、防災リーダーとしての活躍が見込める方
- 3 応募期限 7月12日（金）23時59分まで
- 4 応募方法 受講希望者が直接申込みフォームより申し込んでください。
 （区役所への報告は不要です）
※以降は大学からメールでお知らせ等が直接届きます。
※募集定員は70名のため、応募多数となった場合は、抽選の上、
受講者が決定されます。
- 5 費用 25,000円（防災士養成講座受講料13,000円、防災士教本4,000円、
 防災士資格取得試験受験料3,000円、防災士認証登録料5,000円）

＜問合せ先＞

住吉区役所地域課（防災担当）

TEL：6694-9734

※応募後においては、募集案内に記載の大阪公立大学にお問い合わせください。

2024 年度 大阪公立大学防災士養成講座のご案内

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験から、私たちは、大災害が起こった時には、甚大な被害の生じることを経験しました。このような大災害に対して適切に備えを行い、大災害が生じた時に迅速に人命救助を行うには、私たち自身が、災害や防災に関する知識や技能を身につけておく必要があります。

特定非営利活動法人日本防災士機構は、災害や防災に関する知識や技能を有する人を、「防災士」として認証する制度を 2003 年に開始し、社会の様々な場での減災と社会の防災力向上を目指しています。2024 年 3 月末の時点で、全国で 284,566 人、大阪府で 11,672 人が防災士としての認証を受けています。

大阪公立大学 都市科学・防災研究センターは、大学で実施される所定の授業を受講された地域住民の方や行政職員が防災士としての認証を受けられるよう、日本防災士機構に防災士養成研修機関として認定されています。

以下の要領で 2024 年度の防災士養成講座の受講者を募集します。希望される方は、下記の要領をご理解の上、お申し込みください。

なお、本講座は大阪市および堺市との協定並びに大阪府の協力により、人材育成の取り組みとして実施します。

講 座 日 時:2024 年 9 月 21 日(土) 9:00~17:10(受付 8:30~)

22日(日) 9:00~17:50(受付 8:30~) (2 日間)

資格取得試験:2024 年 10 月 20 日(日) 11:00~12:00

会 場:大阪公立大学 杉本キャンパス

大阪市住吉区杉本 3-3-138(<https://www.omu.ac.jp/about/campus/access/>)

費 用:25,000 円(別途、振込手数料は自己負担)

*大阪公立大学に振込:防災士養成講座受講料 13,000 円、防災士教本代 4,000 円

*日本防災士機構に振込:防災士資格取得試験受験料 3,000 円

防災士認証登録料 5,000 円(合格者のみ)

募 集 定 員:70 名

募 集 締 切:2024 年 7 月 12 日(金)23:59 まで(締切厳守)

申込みフォームに必要事項を入力し、送信してください。

【受講できる条件(以下の要件を満たす方)】

- (1) 大阪市に在住・在勤で、当該地域で意欲的に防災活動に取り組み、防災リーダーとしての活躍が見込める方 ※上記に関して危機管理室または区役所に照会もしくは証明するものの提示をお願いする場合があります
- (2) 2 日間の全ての講座カリキュラムに対面で参加できる方
- (3) 日本防災士機構による公的機関への個人情報開示(下記)にご了承いただける方
“防災士は「自助」「共助」「協働」を原則としてかつ、「公助」との連携充実に努める”と定めております。従って、災害時はもとより平常においても行政機関と協働して活動することが重要な役割となります。日本防災士機構は、政府省庁および自治体・消防等の公的機関等から要請がある場合に限定して、個人情報の秘匿義務を

条件に防災士の氏名等を通知することが出来ることとしておりますので、防災士の資格取得希望者は、あらかじめ公的機関等への個人情報開示についてご了承を頂きます。

- (4) 費用 25,000 円(防災士養成講座受講料 13,000 円、防災士教本代 4,000 円、防災士資格取得試験受験料 3,000 円、防災士認証登録料 5,000 円)を支払える方

(※一旦振り込まれた費用は原則返金できません)

- (5) メールでの連絡が可能な方

(※大学との連絡はメールのみの対応となります。メールには添付ファイルがある場合もあります。)

【受講から資格認証までの流れ】

- (1) 防災士養成講座の受講

○申込み

こちらの申込みフォーム(<https://forms.gle/wC9j6NDtz76LUmK68>)

から必要事項を送信してください。



(締め切り:2024 年 7 月 12 日(金)23:59 まで)

防災士養成講座受講料と防災士教本代(計 17,000 円)を 2024 年 8 月 23 日(金)までに大阪公立大学にお振込みください(受講が確定した方に、メールで振込口座を連絡します)。防災士教本は講座当日にお渡しします。

○養成講座(9 月 21 日(土)・22 日(日))

会場:大阪公立大学杉本キャンパス 1号館講堂

講座カリキュラム

	時間	講義内容
1 日目 (9 月 21 日)	8:30~ 9:00	受付
	9:00~10:30	ガイダンス・演習
	10:40~11:40	災害ボランティア活動 昼食(各自)
	12:40~13:40	災害情報の活用と発信
	13:50~14:50	災害医療とこころのケア
	15:00~16:00	気象災害・風水害
	16:10~17:10	被害想定・ハザードマップと避難情報
2 日目 (9 月 22 日)	8:30~ 9:00	受付
	9:00~10:00	土砂災害
	10:10~11:10	行政の災害対策と危機管理
	11:20~12:20	行政の災害救助・応急対策 昼食(各自)
	13:20~14:20	地震・津波への備え
	14:30~15:30	風水害・土砂災害等への備え
	15:40~16:40	自主防災活動と地区防災計画
	16:50~17:50	防災士に期待される活動

カリキュラムの内容は変更になる場合があります。

○レポート課題の提出

2 日間の講座で実施しない講目は、教本を読んでレポートを提出していただきます。講座当日に、課題と解答用紙、提出用の封筒を配布しますので、受験料振替払込請求書兼受領証を貼付した受験申請書と一緒に大阪公立大学に郵送で提出してください。

(締め切り:2024 年 9 月 30 日(月)必着)

(※2 日間の講座受講とレポート課題提出が受験資格取得の必須条件です)

(2) 救急救命講習

防災士認証登録には、過去 5 年以内に発行されたものであり、発行団体が定めた有効期限内の救急救命講習修了証が必要になります。「日本防災士機構が防災士認証要件として認めている主な救急救命講習等一覧」(別紙)をご確認ください。

有効な救急救命講習修了証をお持ちでない方は、最寄りの消防署等に各自で直接申し込み、受講してください。インターネットで「〇〇市 消防署 救急救命講習」等で検索してください。

(※救急救命講習の実施日程は限られていますので、資格取得試験受験前の受講をお勧めします)

(3) 防災士資格取得試験の受験

○出願

防災士資格取得試験受験料(3,000 円)を日本防災士機構へお振り込みください。その控えのコピーを貼付した防災士資格取得費用支払い証明用台紙を、レポート課題と一緒に大阪公立大学に郵送で提出してください。大阪公立大学から日本防災士機構へ一括出願を行います。

○受験

日本防災士機構の資格取得試験(2024 年 10 月 20 日(日)11:00~12:00)

会場:大阪公立大学杉本キャンパス 法学部棟 3,4 階教室

試験時間 50 分。3 択式 30 問出題。80%(24 問)以上の正答で合格。

可否結果は日本防災士機構から本人に通知が届きます。

不合格者や病気などで受験できなかった方は、別途防災士試験の受験(再受験)ができます。

(4) 防災士資格認証登録の申請

防災士認証登録手続きに必要な書類(防災士認証登録申請書・救急救命講習修了証(写)用紙)は、資格試験の当日にお渡しします。

試験に合格した方は、認証登録料(5,000 円)を日本防災士機構へお振り込みください。その控えのコピーと救急救命講習修了証の写しを貼付した上記の必要な書類を、大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 防災士養成講座担当宛に、2024 年 11 月 15 日までに郵送してください。大阪公立大学から日本防災士機構へ一括申請を行います。

登録が完了すると、防災士認証状と防災士証が日本防災士機構から送付されます。

【お問い合わせ先】

・防災士に関する一般的なご質問

[日本防災士機構ホームページ](#) > よくあるご質問

・防災士養成講座に関するご質問

[大阪市ホームページ「大阪公立大学「防災士養成講座」の実施について」](#)> よくあるご質問
(令和6年6月1日以降に公開します)

・その他のお問い合わせ

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 都市防災部門事務局

Mail:gr-urec-bousaishi@omu.ac.jp



事前意見に対する対応方針(資料3関連)

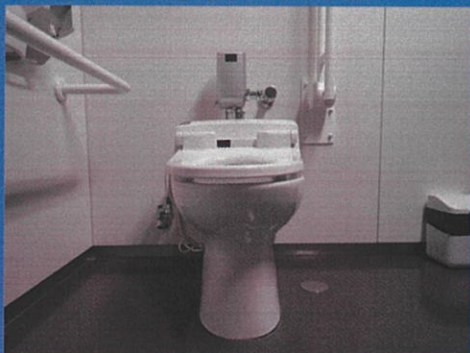
番号	意見	対応方針	参考
1	【非常時（断水時）のトイレについて】 非常時（断水時）のトイレの汚物処理方法として、袋と凝固剤を利用する事が一般的となってきました。大阪市の災害時避難所にはそれらが備蓄されていますが、その方法はまだまだ市民全体には浸透しておらず、この度の能登半島地震でも備蓄してあっても発災直後は使われていなかった例があったと聞いています。この処理方法について、更なる啓発とその使い方を示す<u>掲示物の備えが必要である</u>と思います。大阪市防災アプリやその他の防災に関するリーフレット等での備蓄品の<u>一覧等</u>において、「簡易トイレ」という表記がありますが、この言葉だけでは、袋と凝固剤（もしくはそれに代わるもの）と理解できない人は多いと思います。「簡易トイレ」という言葉には説明が必要かと思えます。 関連事項として、住吉区役所のホームページ内の「地震に対する家庭での備え」ページの「3. 家庭に備えておくもの」の欄にトイレ関連のものがありません。更新をお願いします。	簡易トイレの使用方法については、<u>総合防災訓練や地域・学校と連携した防災訓練等で啓発活動を行っているほか、災害時避難所の避難所開設セットに別添資料のとおり、掲示物を配備しております。</u> 表記については、ご指摘のとおり市民防災マニュアルや防災マップ等では、「簡易トイレ」となっているのが現状です。 今後、区役所から配布する資料では、可能な限り「簡易トイレ（処理袋、凝固剤）」といった補記をさせていただきます。 なお、今回いただいたご意見をもとに、住吉区役所ホームページでは、該当部分を修正するとともに、簡易トイレ（処理袋、凝固剤）の使用方法についても掲載いたしました。今後も市民の皆様への啓発活動に努めてまいります。	篠原委員

事前意見に対する対応方針(資料3関連)

番号	意見	対応方針	参考
2	【能登半島地震災害への対口支援で得られた教訓について】 対口支援で得られた教訓や気付きを基にして行った、または、今後行う備蓄や避難所運営方法の改善点などがありません。また、今後は、対口支援で得られた教訓や気付きを基にして行った、または、今後行う備蓄や避難所運営方法の改善点などがありません。	能登半島地震の発災直後は、避難所においてノロウイルスやインフルエンザ、コロナウイルスといった感染症が発生していました。この原因は、避難者が靴のまま生活していたこと、体育館やトイレ等の清掃用具が不足していたため、避難所の衛生管理の徹底が不十分であったことが考えられます。 当区の災害時避難所には、別添 2-3 のとおり衛生用品を配備しております。その他清掃用具など有効と思われる衛生用品については、今後、予算や備蓄倉庫等の状況を勘案しながら検討してまいります。 また、避難所においてトイレが不足していたことから、<u>危機管理室が排処理セットについて、避難者数×1 日 5 回分を目安に、追加配備を予定しております。</u> 避難所の運営については、上記の衛生管理のため、発災当初から土足禁止エリアを設けることや、清掃当番等も必要であると感じたとです。 更に、能登半島地震では避難が長期化していることから、<u>大阪市では学校の早期再開に向けた取組として、避難所の集約化（集約避難所の開設）についてのワーキングチームを立ち上げ、区内での設置場所等を含めて検討を進めております。</u> 今後これらの課題を踏まえながら、総合防災訓練等を通じて、区民の防災意識の向上に努めてまいりたいと考えております。	篠原委員

災害時のトイレの使用方法

水が使えない！！流せない！！



既存のトイレ

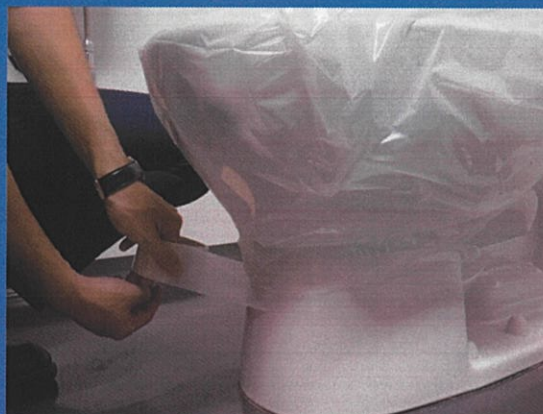
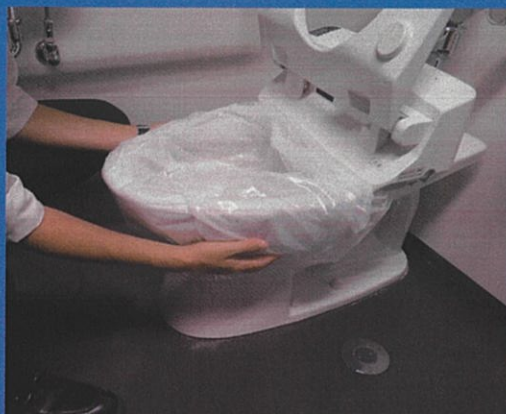


準備物：汚物処理袋セット
養生テープ

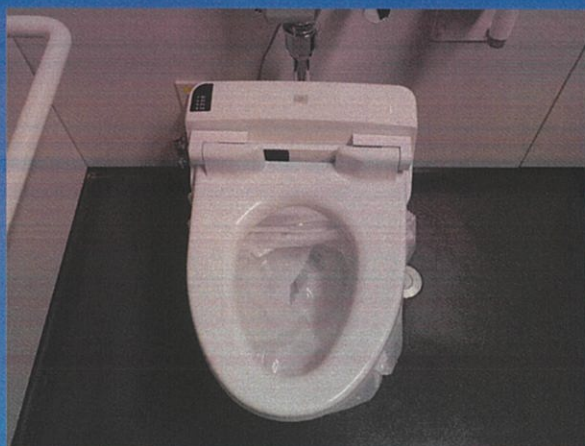
① 便座を持ち上げます



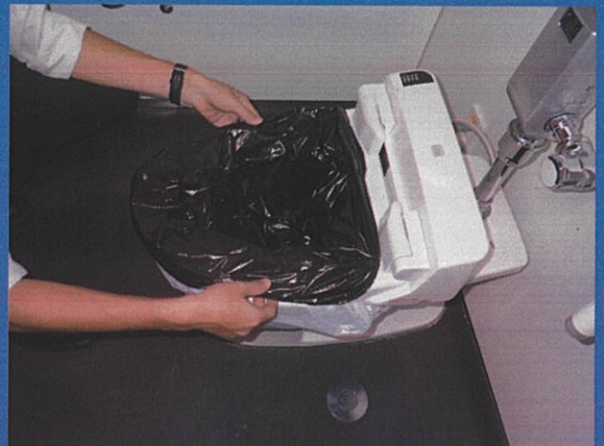
② 便器に白い袋をかぶせ養生テープで貼り付けます



**③ 便座を下ろして、
便器のセットは完了です**



④ 便座に黒い袋を被せます



⑤ 黒い袋の中に用便します

※ペーパーをいっしょに入れても大丈夫！！



⑥ 凝固剤の袋を開封し、ふりかけます



⑦ 数秒でこの様に固まります



⑧ 便座から使用後の黒い袋を外してくくり、普通ごみで捨てます



**⑨ 便器に被せ固定した白い袋はかけたままにしておきます
使用の際は④～⑧を繰り返します**

※排水口からの水の逆流等を防ぐ効果があります。

